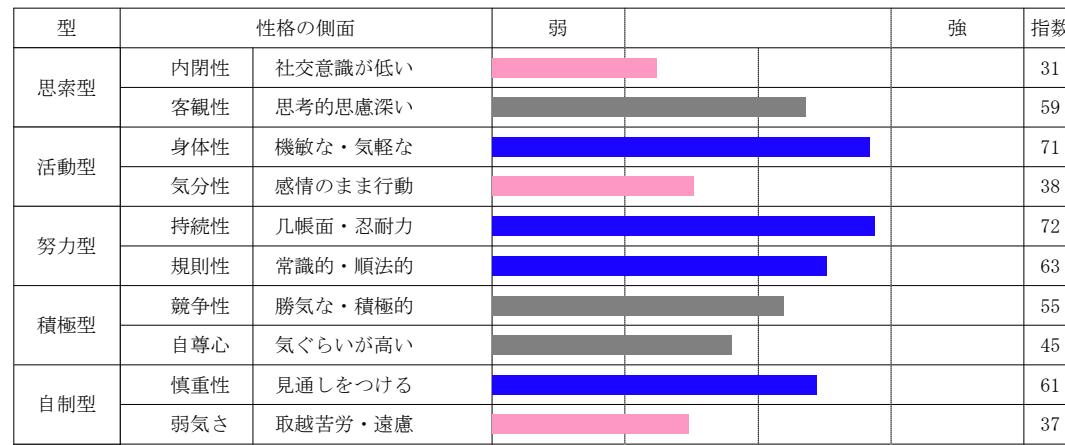


1 どういう性格・パーソナリティか



■この人の中心性格は「努力・持続性」および「活動・身体性」であるが、「努力・規則性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「活動・身体性」の人のパーソナリティスケッチ

几帳面であり手掛けたことはとことん追求する徹底性もみられる。しかし、几帳面といつても、細かいことまでこだわるというより全体のまとまりを見たり、また、整理整頓は好ましいことだと思っていたり、いつもきれいでなければ気がすまないというほどではない。物事の判断のしかたは、堅実というイメージであるが、ときに突発的な発想をしたりもする。行動力もあり、身軽で多少の困難にも粘り強い姿勢で対応することができる。ただ、規則や秩序を大切にしている常識家であり、決定事項などは必ず守るといった社会通念が強いあまり、お堅い人の印象を与えることもある。新しい環境などには比較的とけこむのが早く適応力がある。初対面では馴染みにくそうに思われることもあるが、本人は誰とでも気軽に話すことができ、すぐに親しくなれるような庶民的な雰囲気がある。精神的にもわりと安定していて、常に自分のリズムを一定に保つことができる。世話好きで親切な側面もあり、集団のリーダー格として活躍できる可能性をもっている。

●もう一方の性格特性

内向的でなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも腐心し、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるというサビの部分が欠ける。

2 ストレス耐性



信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性



自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。
仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。
自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持とうとする。
自分の意思や行動に自信があり、周囲からも信頼される。
皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。
環境内の仲間と同じ立場になり、物事を考えようとする。
多少の事で動搖したりせず、気持ちにムラが少なく安定。
反抗的なところは少なく、人の意見や指導に素直である。
指示をまって動くほうだが、大任であるとおろおろする。
今の生き方の方向性について、自信をもち安定している。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか



困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。
知的好奇心が旺盛で、新しい事や珍しい事を追い求める。
逆境に耐え、苦しいときも我慢づよくやり抜こうとする。
仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。
自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。
人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。
仲間と一緒にあっていくより、穏やかな環境の中にいたい。
自己範囲内の環境や物事は、キチンと整理しておきたい。
モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。

■この人は「苦労を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群となっている。
逆に「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。